

3月30日時点：精査中

池田町污水处理施設整備構想 (案)

市町村構想(案)の概要説明

現在の汚水処理計画

3月30日時点：精査中

単独公共下水道

・池田処理区

農業集落排水

・中谷処理区

・徳谷処理区

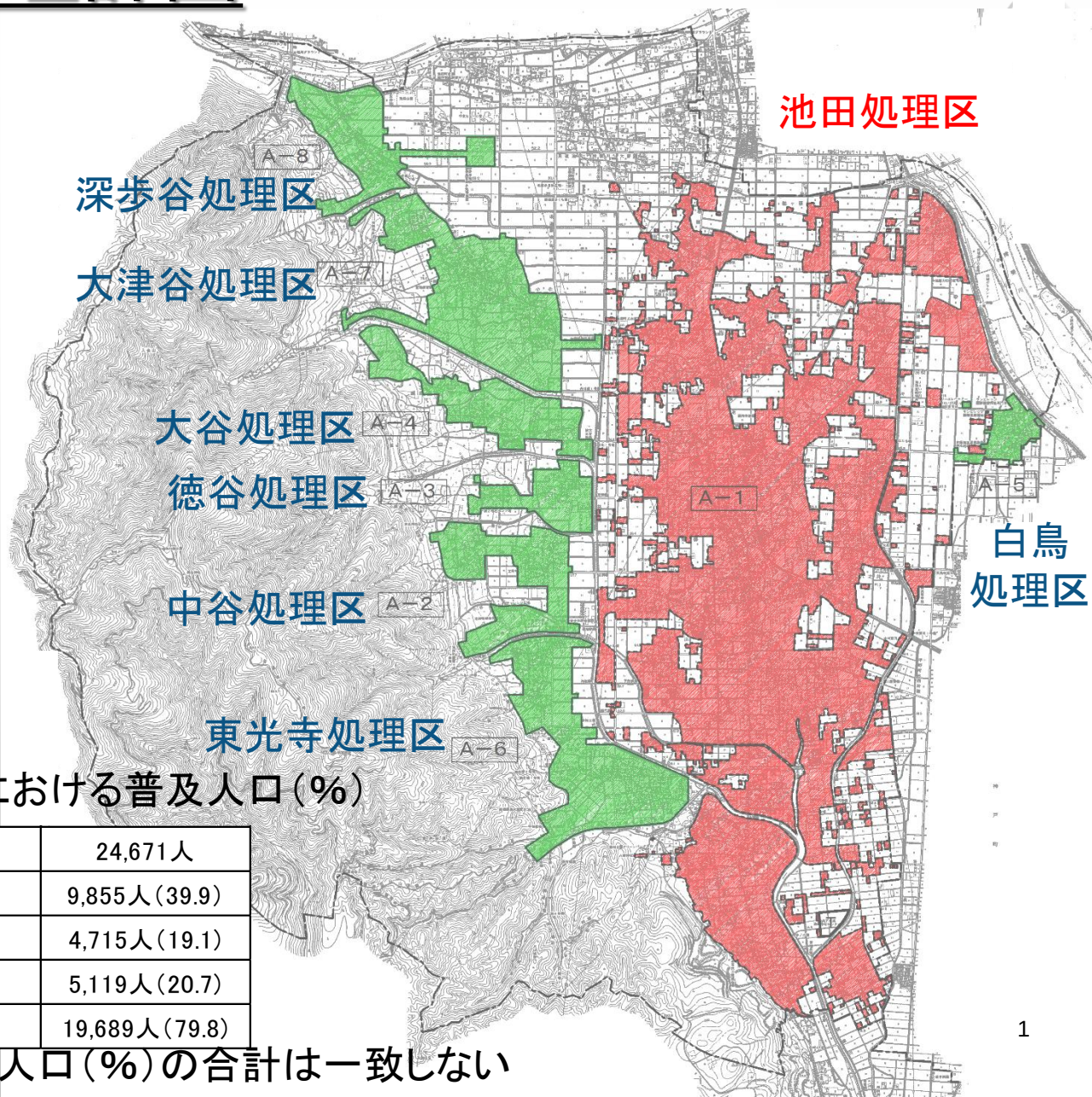
・大谷処理区

・白鳥処理区

・東光寺処理区

・大津谷処理区

・深歩谷処理区



○現況(平成26年度末)における普及人口(%)

行政人口(平成26年度末)		24,671人
普及人口(%)	下水道	9,855人(39.9)
	農業集落排水施設	4,715人(19.1)
	合併浄化槽	5,119人(20.7)
	計	19,689人(79.8)

注)四捨五入の関係で、普及人口(%)の合計は一致しない

整備手法の検討

B-1

3月30日時点：精査中

農集排の拡張が
経済的な区域
(関係者合意済み)

A-8

A-1

- ・着色部分は整備済み区域
- ・黒線で囲んだ無着色部分が未整備域であり、検討単位区域として、整備手法を選定した。

検討単位区域

○検討単位区域の経済性の検討結果の一例

既整備区域等	池田処理区	深歩谷処理区	－（未整備）
処理人口	9,140人	300人	0人
検討単位区域	A－1	A－8	B－1
処理人口	8,170人	50人	1,240人
接続した場合	123.2百万円/年	1.2百万円/年	42.5百万円/年
接続しない場合	300.9百万円/年	1.9百万円/年	45.6百万円/年
経営収支結果	+177.7百万円	+0.7百万円	+3.1百万円
想定接続率	100%	100%	100%
選定結果	下水道	農集排	整備に時間を要するため 下水道→個別

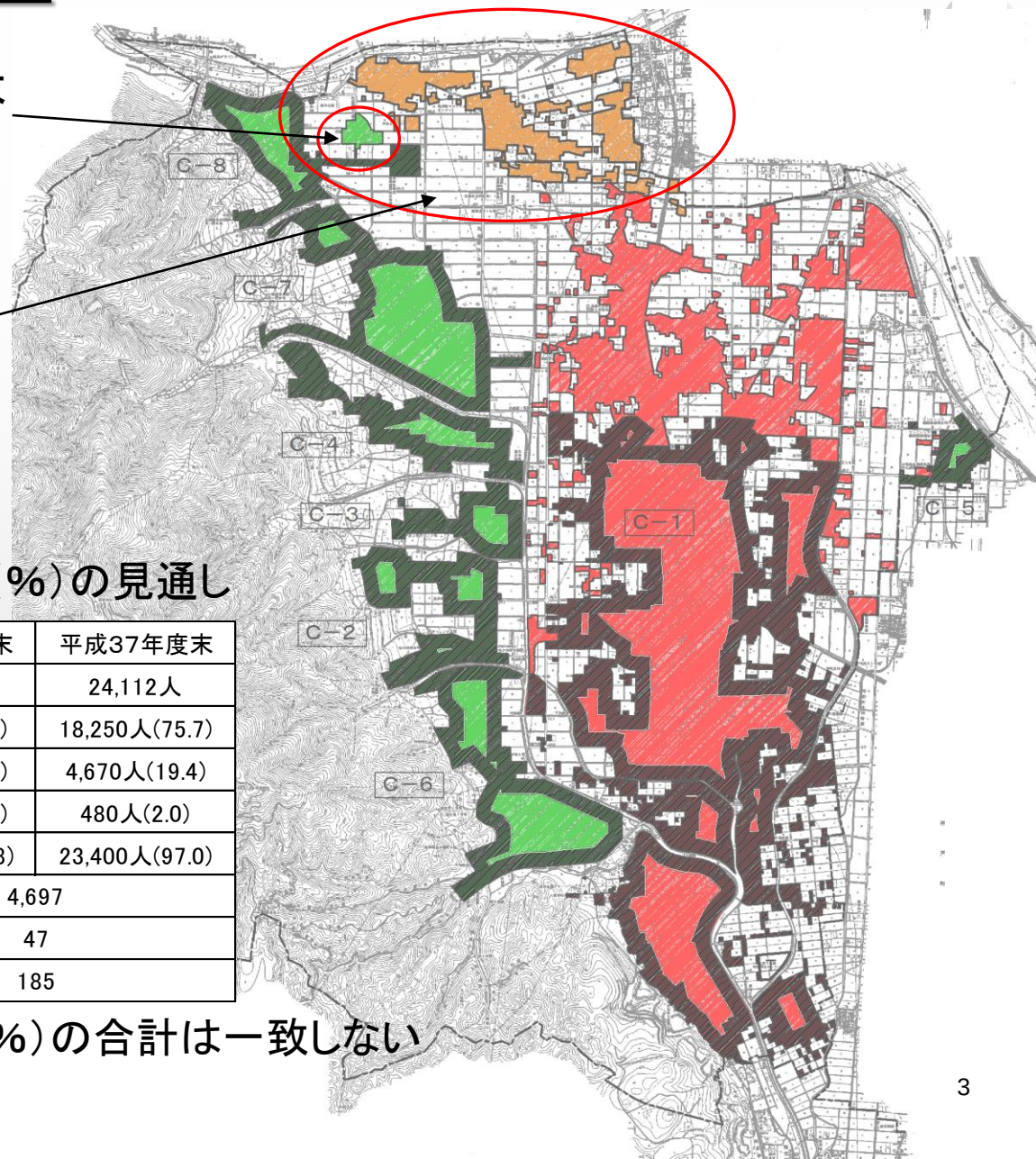
注) 処理人口は、H47年時点の人口を指す

検討結果(構想図)

3月30日時点:精査中

農集排を拡大
する区域

整備に時間を要するため
集合処理(下水道)を浄化
槽へ変更した地区



○平成37年度末までの普及人口(%)の見通し

		平成26年度末	平成37年度末
行政人口		24,671人	24,112人
普及人口(%)	下水道	9,855人(39.9)	18,250人(75.7)
	農業集落排水施設	4,715人(19.1)	4,670人(19.4)
	合併浄化槽	5,119人(20.7)	480人(2.0)
	計	19,689人(79.8)	23,400人(97.0)
概算事業費 (百万円)	下水道	4,697	
	農業集落排水施設	47	
	合併浄化槽	185	

注) 四捨五入の関係で、普及人口(%)の合計は一致しない